

「2018 延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学経済学部 1 年 岡本優太

「韓国に帰りたい。」

日本に帰国してから毎日口に出している言葉です。それほど延世大学校での 3 週間は充実したものでした。

まず、普段の学校生活についてです。午前 9 時から 4 時間、延世大学校語学堂の正規課程のクラスメイトとともに韓国語で韓国語や韓国の文化について学びました。文法・作文・読解・聞き取りを行う授業は、韓国語能力が極めて低い僕にとっては少し難しい内容でしたが、先生方や友人が手を変え品を変え、かなり配慮して説明してくださったので、しっかりと授業内容を消化することができましたし、毎日楽しく学校生活を送ることができました。休み時間や放課後には、様々な国から集まったクラスメイトとおしゃべりをするわけですが、僕の韓国語ではすぐ限界に達してしまうので、英語と韓国語両方を使つての会話でした。辛抱強く僕の話聞いてくれ、出来るだけわかりやすい表現で話してくれたクラスメイトたちには感謝の気持ちでいっぱいです。また、さまざまな国でそれぞれの専攻を学んでいる人たちと話をすることができたことも、非常に貴重な経験でした。スウェーデン出身の歴史専攻のクラスメイトとトルコ出身、中国出身のクラスメイトが万里の長城を建設したのは誰かについて議論していたときは、国によって歴史認識に違いがあることを実感しましたし、印象深い出来事でした。また、そのスウェーデン人のクラスメイトと、アイヌの人々に対する認識について話をしたとき、日本人でありながら日本のことを全く理解していないことを痛感する結果となり、自分にとっての「常識」が「自分にとっての常識」でしかないことを知る良い機会となりました。延世大学校と京都大学の合同セミナーでは、韓国語で発表をするという、このプログラムに参加しなければ一生経験することがなかったであろう経験をするすることができました。また、学歴社会やグローバル化、政治、北朝鮮問題などについて、同年代の学生たちがどのように考えているのかを知ることができ、このような社会問題について改めて考えてみる良いきっかけとなりました。

今回のプログラムに参加して、1 年間朝鮮語の授業を、単位をとることができればいいやという気持ちでなんとなく受けてきただけの自分は、当然何もコミュニケーションが取れないことをしっかり理解できました。でも、韓国に行くまでに基本的な会話や面接の練習をくださったチューターさん、語学堂での生活、韓国で助けてくださった先輩方のおかげで、応募段階では面接官に「넌 아름다워 (お前さんはきれいや)」としか言えなかった僕が、飲食店で注文をすること、どの電車に乗ればいいのかを尋ねること、試着してもいいかを聞くこと、車が来た時に「危ないから内側を歩いて」と言うことくらいはできるようになりました。今後は韓国語も英語も主体的に取り組み、さまざまな国の人と円滑なコミュニケーションが取れるように努力しなければならないなど（そんなことは当たり前のことなのですが）思っています。また語学以外についても、自分の専攻にとどまらず、幅広い分野の教養を身につけていきたいと考えています。

3 주동안의 한국생활은 너무 즐겁고 공부가 되었습니다.

잘 해준 선생님이나 반 친구들에게 정말 감사합니다. 또 보고싶어요~.

어학당에서 배운 것이 헛되지 않도록 일본에서도 한국말을 열심히 공부할 거예요. 이번 유학의 경험을 살려서 많은 것을 배우려고 합니다.